

はしがき

Say It Now! は、コミュニケーションをしながら文法を学ぶテキストです。みなさんは英語でコミュニケーションができるようになりたいと思って、英語を勉強していると思います。私たちの限られた観察では、そういう学生の学習へのアプローチは2通りあります。1つは、とりあえず単語を覚えて文法を勉強すれば、そのうち英語が使えるようになるだろうという「とりあえず派」。もう1つはネイティブの授業に出たり海外研修に行ったりして英語を使う環境に身を置くという「自然習得派」です。語彙や文法も大事ですし、ネイティブと話すことも大事です。でも、どちらのアプローチにも問題があります。

「とりあえず派」は、断片的な言語知識を積み上げていきますが、その知識をどのような場面や状況で使うのかという実際のコミュニケーションと切り離して丸暗記します。ですから、せっかく覚えてもその知識を使うことができません。「自然習得派」は、ネイティブの英語を聞いて「生きた英語」を学んでいる気分になり、カタコト英語で通じたつもりになりますが、多くの場合、それは幻想です。幻想だということに気付かないままカタコト英語を使い続けると、コミュニケーションに必要な言語知識への意識を高めることができません。したがって、英語の表現力が向上しません。

「とりあえず派」に必要な実際のコミュニケーション、「自然習得派」に必要な言語知識の習得、この両方を同時に目指すのが*Say It Now!* です。

Say It Now! は15ユニットで構成され、各ユニットは1つの文法項目を扱います。本書の特徴は、文法のテキストでありながら、英語の生活に浸れることです。例文も練習問題もすべて、実生活を反映した対話または短いパッセージの中で示されます。対話は、学校やアルバイト先、お店、レストランなどで、学生同士、学生と先生、学生と店員などが英語で話す場面を選びました。海外に行ったり、あるいは海外からの留学生と交流したりしている自分を想像し、ターゲット文法項目を正しく使って対話をしましょう。

各ユニットのRead and Speakでは、雑誌の記事やイベントのお知らせ、旅行パンフレットなど、実際の生活でよく見るテキストを読んで対話をするという設定になっています。旅行パンフレットを見て、どのツアーにしようか話し合ったり、新聞の人生相談を見て自分の悩みについて相談したりします。ここでも、英語で生活している自分を想像し、ターゲット文法項目を正しく使って対話をしましょう。

このように *Say It Now!* は、「とりあえず派」が必要なコミュニケーションの場面を提供します。同時に、「自然習得派」の学習スタイルを尊重しながら、その弱点を補う学習法を可能にします。

各ユニットの文法の説明は、実際の英語使用という観点から執筆しました。英語を使いながら学ぶために必要なことに絞って解説しています。また、15ユニットで英語の文法体系を網羅することはできませんので、身近な場面で英語を使うときに心得ておくべき文法項目を厳選しました。さらに詳しく学びたい人は、文法の参考書を併用するとよいでしょう。

海外に出る日本人だけでなく、日本を訪れたり、留学や就労のために日本に住んだりする外国人も増えています。日常で英語を使う機会は珍しくなくなりました。*Say It Now!* で英語を学習するみなさんが、本書で覚えたことを実際に使って、コミュニケーションの喜びを味わうことを願っています。

最後になりましたが、本書を執筆するにあたり、金星堂の松本明子さんはじめ編集部の皆様に、多角的な視点からさまざまなご助言をいただきました。この場を借りて謝意を表します。

高田智子

Diane H. Nagatomo

CAN-DO リストについて

文法はコミュニケーションを可能にする言語能力の重要な要素です。文法を学ぶのは、英語でコミュニケーションができるようになるためにほかなりません。けれども「英語でコミュニケーションができる」というのは漠然としていて、つかみどころのない目標です。もし「自分の大学や生活する場所、行きたい場所などについて簡単な説明をすることができる」とすれば、目標が具体的になります。このように、英語を使ってどのような行動がどの程度できるということを記述した文を技能別、熟達度別に並べたものを『**Can-Do リスト**』といいます。

本書はこの『**Can-Do リスト**』の考え方を取り入れています。

現在完了形を学習するとしましょう。多くの学習者が、恐らく「have + 過去分詞」という言語形式と、「完了」「経験」「継続」などの用法、そして例文を覚えておしまいになってしまうのではないかと思います。けれども現在完了形を使って実際にコミュニケーションをしてみなければ、その言語知識は頭にしまったままになってしまうかもしれません。では、現在完了形が必要なのは、どのような場面でしょうか。

たとえば面接の場面を思い浮かべてみましょう。「～したことがありますか」「いつごろから～をしていますか」など、経歴について質問されるでしょう。「インターシップに参加したことはありますか」「留学したことはありますか」「いつごろから興味をもっていますか」という質問にも、またそれに対する応答にも、現在完了形を用います。

本書ではこのような「典型的な場面」を設定し、その中で言語形式を学びます。「場面」の重要性を強調するため、現在完了形を学ぶユニットでは「クラブに入部する面接で質問に答える」という単元目標を掲げています。文法テキストとして、もちろん「現在完了形を使える」ようになることがねらいですが、現在完了形という言語形式を学ぶこと自体を目標とするのではなく、それを用いてコミュニケーションができるようになることを目標としています。

「クラブに入部する面接で質問に答える」のは、ユニットの目標です。各ユニットの目標を1つずつ達成して、さまざまな言語使用場面でコミュニケーションができるようになることが、みなさんの最終的な目標です。クラブだけではなく、将来は留学試験や就職試験の面接なども英語で受けることがあるかもしれません。そこで、もっと幅広い場面を想定し、「自分の経歴や興味・関心事などに関する質問に答えることができ、留学や採用などの面接で受け答えすることができる」という長期的な目標も設定できます。この長期的目標を『**CAN-DO リスト形式の学習到達目標**』といいます。

本書は、15ユニットそれぞれの単元目標（短期目標）と、対応するCAN-DOリスト形式の学習到達目標（長期目標）を目次に一覧表にして掲載しています。新たなユニットを学習するとき、まずこの一覧表を確認することから始めましょう。「現在完了形」という言語形式を、「クラブ入部の面接で質問に答える」ために用いて学習し、「留学や採用などの面接で受け答えする」ことを最終的に目指します。英語を使って行動する自分をイメージしながら学習するのです。それによって、文法学習の意味付けができ、コミュニケーションへの意欲も高まるでしょう。

Can-Doリストには、国際基準として広く用いられている『**外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 (CEFR)**』や、これを踏まえた国内の取組み、外部検定試験の実施団体による取組みがあります。本書のCAN-DOリスト形式の学習到達目標は、これらに対応したものではありませんが、英語を使って行動する主体として何ができるかを最終的な目標とする考え方は、軌を一にするものです。関心のある読者は、CEFRをはじめとするCan-Doリストを参考にして目標意識をさらに高め、コミュニケーション能力の向上に励むとよいでしょう。

「CAN-DOリスト」は、「Can-Doリスト」の考え方を取り入れています。同じものではないので大文字表記と小文字表記で区別しています。詳細は専門的になりますので省略しますが、特定のテキストや特定の学習者のために作成されたものは「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標と呼んでいます。

Say It Now!

Table of Contents



はしがき 3
 CAN-DO リストについて 5

	文法	ページ
Unit 1 I Commute by Train	現在時制・過去時制	10
Unit 2 What Are You Going to Do This Weekend?	未来表現	14
Unit 3 Have You Ever Volunteered?	現在完了形	18
Unit 4 Is There a Bank Near Here?	There is/are 構文	22
Unit 5 Could I Join Your Class?	助動詞①	26
Unit 6 You Should Apply for the Program	助動詞②	30
Unit 7 What Do the Plans Include?	疑問詞	34
Unit 8 My New Apartment Is Safer Than My Old One	比較級・最上級	38
Unit 9 Typing Is Easy for Me!	動名詞	42
Unit 10 I Have Many Things to Learn	to不定詞	46
Unit 11 If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour	because / if 節	50
Unit 12 Osamu Tezuka Is Admired by Many People	受動態	54
Unit 13 Here Is a Book Showing Various Recipes!	過去分詞・現在分詞	58
Unit 14 There Is a Candidate Who I Want to Support	関係代名詞	62
Unit 15 This Semester Finished So Fast!	頻度/様子を表す副詞	66

単元目標 [短期目標]	CAN-DO [長期目標]
<ul style="list-style-type: none"> 高校生活や大学生活について話す 高校時代のクラブ活動について話す 	家族や学校生活や余暇の過ごし方といった、普段することや過去にしたことについて簡単な質問をしたり、質問に答えたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 週末の予定について友達と話す ミュージックイベントに友だちを誘う 	簡単な日常会話において、何をするか、どこへ行くかなど、これからの予定について短いやり取りをすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> クラブに入部するための面接で質問に答える サークルのミーティングでの決定事項について話し合う 	自分の経歴や興味・関心事などについて話したり、留学や採用などの面接で受け答えしたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 学内外の施設や店舗について簡単に説明する 観光施設についてわかったことを伝える 	自分の大学や生活する場所、行きたい場所などについて、簡単な説明をすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 大学の先生にゼミ申し込みのお願いをする 卒業生に講演を依頼する 	大学や店、レストランなど日常の状況において、自分の望みや意思を伝えたり、丁寧に依頼したりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 留学プログラムの申し込み方法を友達に教える 人間関係についてアドバイスをする 	情報を求められたり相談を受けたりしたとき、状況や相手に応じた適切な表現を用いて、忠告したり規則を伝えたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> レストランでパーティの打合せをする 履歴書に基づいて質問をする 	家庭や学校、お店や駅など公共の場で、質問をしたり具体的で正確な情報を求めたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> アパートを探している友達と2つの物件を比較する PCとタブレットでどちらが良いか説明して勧める 	日常生活で関心のある事柄について、複数の観点から述べたり、長所や短所を述べたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 学園祭の準備の手順について話し合う 市民講座の内容を読んでどれを選ぶか話し合う 	さまざまな行動や行為について話し合ったり、それが好きか嫌い、得意か不得意かなどについて述べたりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 就職活動の進捗状況を伝える 留学生を招くイベントでやりたいことについて話す 	自分が直接関わる活動や毎日の生活に関連する予定、将来の抱負などについて、簡単に説明することができる。
<ul style="list-style-type: none"> 団体旅行と個人旅行の選択について意見を述べ合う オプションツアーの条件を見ながらどれを選ぶか話し合う 	ものごとを複数の観点から検討し、理由を添えて自分の考えや意見を表明することができる。
<ul style="list-style-type: none"> 好きな漫画について友達と情報交換する 果物の歴史に関する資料を見ながら話す 	関心のある絵や音楽や文学、歴史上の事実などについて、簡単に説明することができる。
<ul style="list-style-type: none"> 料理やレシピについて話す 日本のおやつを購入するサービスについて説明する 	日常生活で目にするものや使うもの、関心のあるサービスなどについて、ある程度具体的に説明することができる。
<ul style="list-style-type: none"> 市長選挙の候補者について意見を述べ合う 講演のテーマとなる人物について知っていることを話す 	社会的に関心の高い話題について、ある程度具体的に説明したり意見を述べ合ったりすることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 学期を振り返り、したことやできるようになったことについて話し合う 帰国した留学生の思い出話をする 	定期的にすることやしないこと、行動の様子などを、描写したり話し合ったりすることができる。

I Commute by Train

CAN-DO

家族や学校生活や余暇の過ごし方といった、普段することや過去にしたことについて簡単な質問をしたり、質問に答えたりすることができる。

【 Focus on 】

動詞の現在形 (現在時制) ～する、～である [習慣的にすることや現在の状況を表す]

動詞の過去形 (過去時制) ～した、～だった [過去にしたことや過去の状況を表す]

Listen to the Dialogue

DL 02 CD 02

太字で示した表現に注目して会話を聞きましょう。下線部に英語を書きとり、完成したら音声でもう一度英文を確認し、最後に声に出してペアで会話の練習をしましょう。

Alison: Hello. I'm Alison, a reporter for the student newspaper. Could you tell me about the differences between your high school life and your college life?

Shota: Sure. In high school 1. 学校まで歩いた, but now I **commute** by train.

Alison: What about part-time jobs?

Shota: I **didn't work** part-time before, but now 2. レストランで働いています。

Alison: What is the biggest difference?

Shota: In high school I **lived** at home, but now I **live** by myself. My mother **cooked** for me and **cleaned** my room. Now, I **cook** and **clean** every day. I'm very busy!

Alison: Do you **miss** your mother?

Shota: Yes, but she **calls** me every Saturday.



- ▶ **現在時制①** 現在習慣的にすることや現在のようすを伝えるときに用います。

I often **eat** yogurt for breakfast. It's healthy.

朝食にはよくヨーグルトを食べます。健康によいので。

I **don't skip** breakfast. 朝食を抜くことはしません。

I **make** sandwiches and **bring** them for lunch. It's economical.

サンドイッチを作ってお昼に持っていきます。経済的ですから。

- ▶ **現在時制②** 自分と相手以外のひとりの人について話すときは、動詞の語尾に -s をつけます。

Shota, my classmate, **practices** baseball after school.

クラスメイトのショウタは、放課後野球の練習をします。

Ayumi **has** four classes Monday through Wednesday. [**have - has**]

あゆみは月曜から水曜まで、毎日4コマ授業があります。

“**Does** your English teacher give you a lot of homework?” “Yes, she **does**.”

「英語の先生は宿題をたくさん出しますか。」「はい、出します。」

- ▶ **現在時制③** 毎日することだけでなく、毎月、毎年きまってすることも現在時制で表します。

I **visit** my grandmother at the nursing home every month.

私は毎月、老人ホームにいる祖母を見舞います。

She always **smiles** when I **visit** her. 私が行くと、祖母はいつも笑顔になります。

前置詞の有無に注意しましょう。

I have a piano lesson on Wednesday. 水曜日に

I have a piano lesson every Wednesday. 毎週水曜日

- ▶ **過去時制** 過去にしたことや過去の状況を表します。

Did you belong to any club in high school? 高校時代クラブに入っていましたか。

Yes, I **belonged** to a soccer club. The training was hard.

はい、サッカー部に入っていました。練習は厳しいものでした。

But I **didn't think** of quitting it. でも、やめようとは思いませんでした。

一般動詞の過去形の作り方を復習しましょう。

play – played I **played** basketball in high school.

study – studied I **studied** seven subjects in high school.

chat – chatted I **chatted** online with a friend from high school yesterday.

Grammar Exercise



DL 03



CD 03

日本語に合うよう下線部に入る [] 内の語句を並べ替え、完成した会話文をペアで練習しましょう。文頭に来る語も小文字で示しています。

A: 学校にはどうやって来るの？

How ^{1.} _____ ?

[to school / you / come / do]

B: 歩いてくるよ。大学近くのアパートに住んでいるんだ。

I walk to school. ^{2.} _____ near the university. [I / an apartment / in / live]

A: 私は地下鉄で通っているの。先月、新線が開通したのよ。

^{3.} _____ . The new line opened last month. [by / I / commute / subway]

B: 知ってる。地下鉄の駅が大学の前にあるよね。

I know. ^{4.} _____ .
[across from / the subway station / is / our campus]

Writing Exercise



DL 04



CD 04

日本語に合うよう下線部を英語にして、完成した会話文をペアで練習しましょう。

A: 木曜日は何コマ授業をとっている？

How many classes ^{1.} _____ ?

B: 午前に1コマ、午後2コマだよ。きみは？

^{2.} _____ , and two classes in the afternoon. How about you?

A: 私は午前に2コマ。午後は本屋でアルバイトをするの。

I have two classes in the morning. ^{3.} _____
_____ in the afternoon.

B: そうか。ぼくはアルバイトはしないんだ。宿題で忙しいからね。

Oh, do you? ^{4.} _____ . I'm busy with homework.

クラブ活動の紹介記事を読み、その内容に関する2人の会話の下線部を日本語に合わせて完成させましょう。最後に音声で答えを確認し、ペアで会話を演じましょう。

Maplewood High School Special Volunteer Activities

Eyeglasses Recycle Program

Some people throw away old eyeglasses. ERP collects those eyeglasses and sends them to poor countries. Students collect glasses from family and friends. They clean and wrap the glasses carefully. They send the glasses to the collection center in Tokyo. The center gives the glasses to people in fifteen countries.



Visiting the Elderly Program

Members of VEP go to a nursing home once a month. They talk to the elderly people there. They play games and sing songs together. The residents of the home are happy to meet young people. The students learn about the old days. Everyone has a nice time together.



Shota: My high school had these volunteer clubs. I was in the ERP club.

Ayumi: That looks interesting. Where did you send the glasses?

Shota: Mostly to the Philippines. Some poor people don't have the money to go to an eye doctor. The glasses help them see better.

Ayumi: Did you volunteer for VEP, too?

Shota: No, I didn't. I was too busy. ^{1.} But _____

Ayumi: In my school, students volunteered at a nursery school. ^{2.} _____
_____ and we played games there.

Shota: ^{3.} _____ ?

Ayumi: Yes, they did.

1. でも、ぼくの親友は毎週老人ホームに行っていたよ。
2. 私たちは子どもたちを公園へ連れて行って、そこでゲームをしたわ。
3. みんな楽しく過ごした？ (=楽しい時間を持った？)